



ロータリーは  
分かちあいの心

# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)



07-08年度 RI会長  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30  
■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号  
名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054  
■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

### 第813回

2008年4月15日(火) 晴 第37回

～雑誌月間～

斉唱 手に手つないで  
出席 会員73名(出席率算入人数71名)  
出席46名 出席率64.79%  
前々回補填率94.12%(4月1日分)

#### ◆会長あいさつ◆

会長 大隅 紀郎さん

13日の日曜日、多数のかたに地区協議会に参加していただきまして、ありがとうございます。今日はその反動で、半分以下しか参加されないのではないかと危惧しておったのですけれども、60数%という高い出席率であることを、まずもって感謝申し上げます。今日は地区協議会の発表ということで、あとで3名のかたにお願いしております。



今日も林元会長と話をしておりましたが、鉄鋼、ステンレス、材料の値上がり、また販売不足で苦慮しております。皆さんも頑張っていたいただきたいと思います。

#### ◆幹事報告◆

幹事 杉山 隆秀さん

1. 本日出席袋の中に、クラブアッセンブリーの案内と引継書の依頼書が入っております。引継書は5月13日までに事務局にお届けいただけるようお願いいたします。
2. 国際大会への案内が受付に置いてありますので、興味のあるかたはお持ちください。

#### ◆ニコボックス◆

- \* 名南 RC 会に久しぶりで参加します。74 才になったのでゴールドで打たせてほしい。伊藤 圭一さん
- \* 地区スタッフとして地区協議会も終わり、やっとゴルフが出来ます。児島 徳和さん
- \* 新緑に誘われて青春時代(20才?)を思い出す。楽しかったな…。菊岡深智子さん
- \* 食事療法を昨年8月10日より初めて、今日とうとう78kgを切って68.8kgに減りました。13kgの減量に成功しました。江村 雅夫さん

\* 青葉、若葉の好季節、パワー一杯頂けそうです。

坂田 信子さん	安藤 鉄一さん	山崎 淳さん
平沼 里子さん	久米 伸治さん	林 隆二さん
新原 尚さん	入谷 直行さん	朝比美和子さん
佐々木元彦さん	細井 俊男さん	東山 直史さん
加藤 英敏さん	中村 勝さん	木村 猛さん
犬飼りさ枝さん	三浦 和人さん	鈴木 厚司さん
青木 光輝さん	西村己恵子さん	
本日合計 26,000 円		累計 1,760,000 円

#### ◆委員会報告◆

●親睦活動・家族委員会 委員 吉木 邦夫さん  
IDMの締め切りが5月20日になっております。全会員のご出席をお待ちしております。

●ゴルフ同好会 児島 徳和さん  
ゴルフ部会の100回記念大会ですが、出発の3週間前、4月28日以降はキャンセル料が発生いたしますのでご了解いただきたく存じます。また、今回100回記念に出席できないかたには、アンケートを入れさせていただいております。

#### ◆地区協議会報告◆

●次期副会長・クラブ奉仕委員長 小澤 久隼さん

川辺次期会長と第1分科会に出席してまいりました。片山ガバナーは、次期RI会長李東建(リー・ドンカン)さんの方針「『子どもたちのために』、水保全、保健・飢餓救済、識字率向上」を挙げて、いかにして5歳以下また子どもの命を救うのかということに向けて頑張りたい、この状況に沿ったことが今回のガバナー方針であると発表されました。そのような中で片山ガバナーが、ロータリーは出席をすることが何よりも大事で、出席の中から親睦が生まれ、その親睦を深めることによって社会奉仕、職業奉仕というような奉仕が生まれてくるので、ぜひとも出席を主体としたロータリー運営をやっていたきたいという話をされました。それから、地区の方針ということで4項目ほどお出しになりました。



第1の方針は「持続可能な前進」ということで「組織運営で・奉仕活動で・会員増強で…」です。ロータリーのマンネリ化を防ぎ、自クラブだけでなく、近隣地域の直近の状況などもお互い把握しながら「持続可能な前

#### 第815回例会(5月13日)のご案内

長期ビジョン特別委員会報告

進」をしていただきたいということです。

第2の方針は「ロータリーの綱領(目的)の再確認」です。ロータリーの基本的な重要問題が常に討議されているか、各クラブでチェックしていただきたいということ、クラブの活性化のための長期戦略を立てていただきたいということです。

第3の方針は「調和の奉仕」です。奉仕活動自体が継続的になされているかどうか、ぜひとも各クラブで検分をしていただいて、ロータリー財団、米山の寄付などができるような環境を作っていただきたいということです。

第4の方針は「人的、物的資源の維持強化」です。ここ5年間に会員が日本全国で36%減少しており、諸外国と比べ日本の会員の減少率は非常に大きいです。会員の研修にあたっては、初期の研修、中期の研修、それから役職経験者等における検証、このようなことを常にやることによって、退会が出ないような工夫をしていただきたいというお話でした。

クラブ奉仕委員会については、クラブの管理、運営に当たって、プログラム、ニコボックス、親睦、このような委員会がうまくやっていけるような環境を作り、例会を通じて研鑽を積んでいけるようにすることが求められているのだと思います。各クラブの運営等において、少しでもやりやすいような環境、調和を作りながら、次年度のクラブ運営に対して取り組んでいきたいと思っております。

#### ●次期職業奉仕委員長 白藤 憲雄さん

4月13日の地区協議会ですが、私は第3分科会に出席しました。このときに次期地区職業奉仕委員長の成田洋之さん(名古屋みなとRC)が「職業奉仕はロータリーの原点である」ということで、その理念は「万古不易」とおっしゃっていました。あと米山財団の米山梅吉さんは、「ロータリーの例会は人生の道場である」とこのように述べていたということもおっしゃっていました。ロータリーの場合は「入って学び、出て奉仕せよ」このようなこともそういう話から出ました。



1905年2月23日、ロータリーはシカゴで誕生しました。会員はそれぞれ職業を持ち、お互いの職業が有益に働きあうように努め、そのメリットで人員を増やしていきました。しかし、ドナルド・カーターという人がこのようにことを言ったそうです。「自分達の利益のためだけの団体で、社会的に貢献しない団体。将来性もないし、何の魅力もない」それで、シカゴに初めて造ったのが公衆トイレ。そんなお話もございました。

#### ●次期米山記念奨学副委員長 長尾 浅吉さん

米山というのは、国際ロータリーの中では異端児なんですね。国際ロータリーにロータリー財団というのがありますけれども、米山はちょっと違うんです。これは、ガバナーエレクトの片山さんがお話しされたのですが、米山に関しては税額控除がありますが、ロータリー財団は税額控除がありません。どうして米山は税額控除の対象になるかといいますと、日本の各ロータリアンが提供した浄財を、日本の中で運営・配分していますので、国税庁としては寄付行為の対象になります。ロータリー財団は、いったん国際ロータリーに吸い上げられてから日本へやってきます。すべて運営は国際ロー



タリーの本部ですので、それに関しては日本の税法は関知しない。ですから寄付金の対象にならないのです。片山さんが東京の会議で質問されたのですが、日本で財団を作って、米山も従来のロータリー財団も集めて、それからそれを国際ロータリーへ渡したらどうかと。これは今後検討するという事です。

米山の分科会は第8分科会ですけど、わがクラブの小山さんが、4期務められまして、相当実績を上げられました。それでわがクラブの去年の実績を見ますと、寄付金が地区で2番目に多いんですね。一番多いところは名東RCです。この寄付金を少しでも多くすると米山奨学生に対する財源となって、一人でも多く奨学生を推薦することができます。

この会のリーダーは次期米山委員長の西大さんです。このかたは東南RCの前の会長です。それから、アドバイザーとして、パストガバナーである中RCの加納泉さん。米山の理事にもなってみえます。それから次期地区副幹事の山口さん、アシスタントリーダーの地区ガバナー補佐の安藤さん、ほか3名のかたの合計8人でこの米山の委員会は運営されております。

今回のテーマは、「米山学友は世界を、日本を支える力」です。アドバイザーとして加納泉さんから米山とはどういうものかということを知るうえで、非常に参考になるお話をさせていただきました。

米山奨学会の事業の使命は「将来、日本と世界を結ぶ架け橋となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成する」ことです。これはロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」に基づくものというように言われております。米山奨学会は、日本最大の民間奨学事業です。事業費は大体14億円ぐらいで行われておりまして、各会員からいただいた浄財で運営されております。ロータリーの米山奨学会には、世話クラブという制度やカウンセラー制度があり、奨学生のかたのフォローをしております。

加納さんのお話では、今まで会員のかたにPRをしてなかったんですけど、各行事が年5回ほどあるんだそうです。これからは会員のかたに参加していただいて、奨学生と交流していただきたい、そうすると、それぞれの国の状況とか、その奨学生がどういうことを考えているかということもよく分る、とおっしゃっていました。

この場で学友の卓話がありました。ウ・エイさんという中国のかたで、ホストクラブは中RC、名大の教育学部で心理学を勉強しておられます。日本におみえになった当初、日本語が分からないので、できるだけ人と触れ合わないような場所で仕事をしていたそうです。そのときに時給1,000円もらうのは非常に大変だったというお話をされました。学校から米山奨学生の推薦を受けて、月14万いただけることになり、非常に経済的支援になったそうです。14万を稼ぐには140時間必要です。その時間を勉強に充てて自分の夢をかなえることができる、こんな素晴らしい出会いはなかったと言ってます。それからクラブの例会に参加して、会員の方からアドバイスを受けたり、奨学生同士の交流もあって、そこでいろいろなことを勉強できるのだそうです。

最後に、米山としましては、ガバナー方針を受けて、ロータリー財団、米山の寄付の協力は、地区平均以下のクラブは地区平均まで、平均以上のクラブは昨年以上の実績をお願いしたいと思っております。東京RCを作られた米山梅吉さんが米山奨学基金を作ったのですけれども、今年は財団になってから40周年になるんです。2760地区も、奨学生の対象が一人でも多くなるようにお願いしたいと思います。